

令和3年度 第6回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和3年9月9日(木)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
↓		
午後3時30分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 兼 米田 昭嗣
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和3年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 令和3年度第5回定例会会議録の承認

承認

3 議事

報告第27号 令和3年8月1日付け教育委員会職員人事異動について

議案第13号 垂水市教育支援委員会の答申について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第27号 令和3年8月1日付け教育委員会職員人事異動について</p>	<p>令和3年8月1日付け教育委員会職員人事異動の内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第13号 垂水市教育支援委員会の答申について</p>	<p>垂水市教育支援委員会の答申を受けて、児童生徒の望ましい措置を決定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

議 事 内 容 等

<p>3 議 事 教育総務課長</p>	<p>報告第27号 令和3年8月1日付け教育委員会職員人事異動について 令和3年8月1日付け人事異動の内容を説明。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>議案第13号 垂水市教育支援委員会委員の答申について</p> <p>(非公開)</p> <p>(議案第13号 承認)</p>
<p>4 その他</p>	<p>なし</p>
<p>5 委員並びに教育長及び課長報告</p>	

田原委員

「東京オリンピック・パラリンピック」

東京オリンピック・パラリンピックの2大ビッグイベントは、感動も大きかったが、何とか無事に終わって本当によかった。私が言うべき立場でもないが、一人の日本人として、この日のために5年間頑張ってきた選手たちや、それを期待していた世界中の人々に対して、開催国としての責任を果たせた気がする。その反面、日々拡大するコロナの感染に心が痛かったが、ここ2～3日、ようやく感染者が減りつつあることにほっとしている。

このデルタ株は、子どもたちに感染が広がっていることから、学校がクラスターにならないか心配している。水之上小学校に聞いたところ、とにかく、「給食を食べる時、歯磨きの時以外は、学校生活全ての場面でマスク着用。運動会練習で校歌や応援歌は歌わないでテープを流す。徒競走も走るとき以外はマスク。玄関での体温測定。家庭で誰かが発熱したら、児童は登校させない。」など学校として考えられる全てを動員して最善の策を講じておられるようである。学校は、子供たちがいるのに、とても静かであるという話であった。また、これまでの慣例行事の在り方が様々に工夫されて実践されている。今は我慢の時であるが、これを機会に慣例行事の在り方を見直し、余計なものを剥ぎ取って工夫し改善していくことはよいことかもしれない。

葛迫委員

「夏休み期間中感じたこと」

夏休み期間中、新型コロナウイルス感染症拡大において鹿児島県では、「まん延防止等重点措置（8月20日～9月12日）」に係る対策の強化が行われた。県内の各美術館、特に長島美術館の「いちだみなみ展」、霧島アートの森の「岡本仁展」は、展示開催と途中で一時中止や閉幕という事態になってしまい、夏休み期間中に楽しみにしていた県内外の多くの子供たちには残念だったのではと思った。そうした中で昨日、書類提出などの所要のため鹿児島市立美術館を訪れたのだが、休館と信じていたので、美術館入り口からは当然入れないと思っていた。しかし、すんなり入れたので、担当職員の方に事情を聞いてみると、「美術館自体は閉館していないが、まん延防止等重点措置のため、スイス プチ・パレ美術館を中止したことで、他の展覧会も中止したいとの連絡が入り、全館全ての展覧会が現在中止となりました。」という返事が返ってきた。自分が8月に長島美術館を訪れた時には、美術館の門が閉まっていて入れなかった。また、鹿屋市においては、リナシティかのや、図書館、文化会館、公民館等一部を除いては休館である。しかし、垂水市においては、新規予約の受付は停止だが、既に予約してある分については、感染予防対策を講じた上で、利用可能という状況であり、要するに施設は開館しているということである。県のまん延防止等重点措置への対策は、県内の市町村で対応や取り扱いがバラバラである。これは、コロナ感染者の発生数でこのような違いになっていると思うが、もう少し分かりやすい情報や説明が必要ではないかと思った。また、これから学校で開催させる運動会や文化祭、修学旅行など今後の対応を注視していきたい。

「南日本新聞「ひろば」欄について」

9月1日付けの南日本新聞の「ひろば」欄に、歯科医師の方が、「マスクを上手に使いましょう。」と投稿していた。読まれた方もおられると思うが、次のような記事が掲載させていた。

「コロナ禍でマスクは必需品ではあるが、息苦しさから口呼吸の癖が付く可能性がある。口呼吸で口の中が乾燥すると、歯周病などの細菌が繁殖しやすい口腔内環境になってしまい、口臭の原因にもつながる。子供の場合は歯並びにも影響することもある。今のように高温多湿の環境でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがある。マスクを着用しての負荷のかかる運動は避け、喉が乾いていなくてもこまめに水分補給が必要だろう。屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、マスクを外してゆっくり鼻から深呼吸をしてみてもいいだろう。」

コロナ禍によって私たちの生活は一変した。これから先の子供たちにとっても、私たち大人にとっても、コロナウイルス菌がこの世から消えない場合、私たちはどうするのか。コロナとともに共生しながら生きていくのか。コロナにどうしたら感染しないのか。感染したときの対応をどうするのか。子どもたちも私たち大人も、生きるためのしっかりとした考えを養う必要性が求められる。

田之上委員

夏休みの後半から県内でも若い世代や家庭内感染が増えてきて心配していたところだが、今は少し減少傾向にあるので、ほっとしているが、いつまた・・・と思うといつまでも安心はできない状態だと思う。そんな中で学校は2学期が始まった。子供たちは運動会の練習も始まり、感染症対策に加えて熱中症対策と先生方は本当に大変なことであろうと思うことである。

新聞に目を通すと、「近頃、学校から子供たちの元気な声が聞こえませんが、歌声が聞こえません。学校が静かです。」などの記事を目にすることが多くなっている。一頃は、「学校がうるさい。」と言われていた頃があっただけに、寂しいことだと思っている。今日の南日本新聞の「ひろば」欄には、垂水小学校の児童の「黙食」についての投稿があった。その中の「～今はがんばってがまんしようと思います～」という一文に心が痛み、辛かった。また、協和小学校や牛根小学校の児童たちも2学期になって頑張ろうとか、夏休みのことを投稿してくれていて、「子供たちはどんな環境の中でも元気で頑張ってくれているな。」と感じている。行事の多い2学期で先生方は大変だと思うが、頑張っている子供たちに、100%ではなくても、色々な一つひとつの行事が実施できるといいなと願わずにはいられない。

最後に、今市民館のロビーで七岳25周年の企画展が行われているが、こつこつ25年続けていくことはとても難しいことだが凄いなと思った。今日は少し早く来て見ていたのであるが、息子の名前を見つけて、投稿した記憶はないのと思いながら、大昔、小学校低学年の頃の作文を載せてくださって、懐かしく思うことだった。

福里委員

夏休み後半になって、子供たちの宿題を見ながら一緒にやっていったの

であるが、息子は毎日計画的にやっていたので何とかよかったが、娘は涙を流しながら丸一日掛けてやっと宿題を終わらせていた。娘の宿題に目を通すと、とんでもない事を書いていたりしていたので、やっぱり親がしっかり見てあげないといけないなと感じた。

担任の先生は少し年配の男の先生なので、子供に暑中見舞いを送ってくださった。プールサイドに寝っ転がった写真が載っており、「Summer Vacation」と書いてあった。夏休みの宿題で、二人とも、はがきと「はがきの書き方」の紙を貰ってきていたが、こういう時はこのような書き方をするとか丁寧に解説してあるパンフレットが付いていた。今は年賀状も出さない人も結構おられるので、よい機会だなと思った。娘は先生へのお返しに残暑見舞いを書いて、息子はばあちゃんに「焼き肉」と書いた絵手紙を送ったが、こういう機会もすごくいいなと感じた。

また、俳句を毎年書くのだが、息子は先日頂いた「俳句集」を参考にして書いていたが、娘はうまくいかなかったみたいだった。しかし、学校で先生が皆の前で自分の俳句を詠んでくれたと喜んでいたので印象的だった。「夏祭り お金ください おかあさん」先生は内容が面白かったので、おだてて詠んでくれたと思うのだが、娘はすごく喜んでいて。

いよいよ、運動会の練習が始まった。それぞれ感染症対策をしながら頑張っているようなので、当日、力を発揮できればいいなと思うことである。

教育長

全国学力・学習状況調査の記事をご覧になられましたか。さて、垂水はどうだったでしょう。小学校6年生は国語と算数のテストがあったのだが、全国平均が国語64.7点、算数が70.2点。鹿児島県が国語67点、算数71点で今年は両教科ともよかった。県として初めてこの二つの教科が全国平均を上回った。それでは、垂水市はどうだったかが非常に気になるところであるが、何と国語が72点、算数が70点。この72点という点数は、全国平均と比較してみても、72点というところはないのである。あの全国NO1の秋田でさえ、NO2と言われる石川でさえ71点なのである。そこを超えたのである。子供たちは凄く頑張ってくれた。それに火を付けたのは先生方、先生方がやっぱりすごく頑張ってくれた。これを自信に変えて、そのまま中学校に進んでくれたらと願っている。

一方中学校は、全国平均で国語が64.6点、数学が57.2点であった。残念ながら、鹿児島県は国語が64点、数学が56点でいずれも全国を下回っている。垂水市は国語が県平均と一緒の64.6点だったが、問題は数学である。数学は50点だったが、以前と比較するとその差は縮まってきている。ということは、中学校もだいぶ頑張ってきているということである。垂水の子供たちの学力は上向きなので、この状況を一過性のものにしないで、是非継続して上がっていくように、先生方には今後も一所懸命取り組んでいただきたいと思っている。今回、先生方にいろいろ尋ねてみると、「繰り返し分からないところをやる。」とか、「見届けをしっかりとやる。」とか、そういうことにこだわって取り組んだようである。

今後は、それを垂水の当たり前にして欲しいと思う。そうすると、子供たちもその学び方がしっかり身に付いて、毎年安定した結果を残せるとい

うことに繋がると思うので、そのことをまさに「垂水の学習ルーティーン」として、しっかり子供たちに浸透していけばよいと思うことである。また、委員の皆様には、詳しい分析等をペーパーでお示しできる時期がくると思うので、その時に改めて紹介していきたい。実は来年の1月18日、19日で行われる鹿児島学習定着度調査で、真価が問われるのである。中学校1・2年生と小学校5年生が対象となっており、小学校が4教科、中学校が5教科で行われるこの調査で、全国学力テストの取組と併せてGIGAスクール構想の取組の成果が問われるのかなと考えている。そういう意味で、これまで委員の皆様を紹介してきたAIドリルが小学校4教科、中学校5教科揃ったので、先生方にはこれをとにかく繰り返し行うようお願いしているところである。これはかなり効果があるのではと期待をしながら、一方では、また必ずよい結果を出さないといけないと気持ちを新たにしたところである。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

4課長から8月11日から9月9日までの主な行事等の実施状況について報告するとともに、10月10日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会